

以下は保育園で開催した食育講習会が行われた時に保育園での取り組みを配布して説明をした資料です。この時は一緒に大人向けのマナー講習会も開かれました。
その後全家庭に配布しました。



保育園でのスプーン、箸の取り組みについて（配布資料）

平成27年6月12日

保育園では「子ども達に卒園までに正しい箸の持ち方が出来るように」という思いのもと、スプーン、フォーク、箸の移行時期や子ども達の持ち方への関わりを研修し、取り組んできました。

今年は実践という事で、子ども達が使いやすいスプーン・フォーク・箸・食器を検討して揃え、6月から使用しています。

そして子ども達と関わる中で、以下の3つの事を大切にしていきたいと考えています。

- ①スプーン、フォークで三指持ち（親指と人差し指と中指の三指で支える持ち方）の定着をしっかりと行なっていく
- ②手先の発達を意識した子ども達への関わりを行なっていく
- ③個別に箸への移行を行ない、正しい持ち方を定期的を確認するの3点です。

●具体的な移行の時期について

- *あひる組・りす組ではスプーンとユニバーサルプレート（淵が丸みを帯びてすくいやすいお皿）を使って、一人一人の発達をおさえて三指持ちになっていけるように関わっていきます
- *うさぎ組の前期はりす組での取り組みを大切に、後期からは個別に箸への移行を進めていきます
- *くま組では個々の様子を見ながら箸への移行を1年間かけて取り組み、きりん組では正しい箸の持ち方を定着していけるような関わりを持っていきます
- *メニューに応じて箸やスプーンを併用していきます

上記の移行を目安にしながら、一人一人の関わりや移行時期を大切にしながら、また、スプーンや箸の持ち方だけではなく楽しい食事の雰囲気や食事の形態（年齢に合わせた食材の大きさなど）にも配慮していきたいと思えます。

保育園では以上の流れを大切にしながら、個々の様子を把握して関わっていきたくて考えています。

保育士自ら子ども達の見本になるようにして、日頃から正しい姿勢と持ち方を知らせていきます。

また、食事以外でも手先の遊びを十分取り入れながら、子ども達の発達を促していけたらと考えています。

●関わりポイント（大切にしたいこと）

- * 0・1歳児・・・個々の関わりを大切にしながら、手づかみ・スプーンに慣れていきます
 - ・手づかみはパンやスティック野菜などが食べやすいです
 - ・スプーンは食品を乗せてあげると良いです

◎手づかみやスプーンを持つ事は口までの距離を知っていくのに大切です

- * 1・2歳児・・・まずは食べる意欲を大切にしていきます（苦手な物も一口でも！）
 - ・スプーンの持ち方を気にして見ていきます
 - ・下持ちの時は上持ちに促していきます
 - ・大人が肘を上げる補助をすることでうまく口まで運ぶ事ができます
 - ・上持ちが安定してきたらスプーンの三指持ちを促していきます

◎三指持ちがなかなか上手にならない場合は、手先の遊びを十分行えるように促していきます

●関わりポイント（大切にしたいこと）

- * 3歳児以上・・・正しい姿勢やスプーン・フォークの三指持ちの持ち方が維持できるようにしていきます
 - ・保育園では3歳児うさぎ組の後半から4歳児くま組にかけて箸への移行をしていきます
 - ・箸への移行は個々の様子を把握していきます。スプーン、フォークの三指持ちがしっかり出来るようになってから箸へ移行していくことで、移行後もスムーズに定着していくと考えています

◎一度箸が持ててもまだ安定していないので、継続的に確認していきます



上持ち



三指持ち



箸の正しい持ち方



3歳児以上の
スプーンとフォーク



おわりに

子ども達に「スプーン、フォーク、箸の正しい持ち方をプレゼント」という思いで関わっています。毎日の食事を通して楽しい中、小さい時から正しい持ち方を子ども達に知らせていければと思っています。

今回、研修を行なっていく中で、子ども達にとってより良い環境を整えていくにはどのようにしたら良いかと考えてきました。

大人が見本となるように心がけ、子ども達の発達や個別の関わりを大切にして、正しいマナーの土台作りをしていこうと考えています。

『西岡高台保育園は、豊かな自然に恵まれているこの環境を生かし、あひる組から毎日のように戸外に出て遊び、散歩を通して様々な道を歩いたり、探索を楽しむ経験の中で、体を動かし、丈夫な体作りを行なうと同時に、生きる力を育てていけるような保育を目指しています。』そのような環境の中、体作りを行なうと同時に、現在では手先の発達や表現力を育てていけるような室内遊びの充実と、正しいマナーを身につけての食育活動を大切にしています。

卒園までに多くの子が箸の正しい持ち方が出来るように、生活、遊びの毎日の繰り返しを大切にしていきながら、子ども達と楽しく過ごし、ご家庭と保育園で一緒に子ども達に関わっていきたいと思います。

どうぞよろしくお願い致します。

最後に子ども達の保育園での様子は懇談会・クラスだよりや個別にお話ししていけたらと思います。

ご家庭の様子や困っている事があれば、気軽に声をかけて下さいね。

